

第22回全国中学生弓道大会
JOCジュニアオリンピックカップ大会

大会出場の手引き

第22回全国中学生弓道大会実行委員会

第22回全国中学生弓道大会、JOCジュニアオリンピックカップ大会が、実施要項のとおり開催される運びとなりました。

本手引きには、日程や注意事項など重要事項が掲載されておりますので、ご熟読の上、大会への参加をお願いいたします。また、大会期間中は常に携行するようお願いいたします。

目次

1. 実施要項	3・4頁
2. 弓道競技規則抜粋	5頁
3. 大会スケジュール	6頁
4. 受付について	6頁
5. 公開練習／巻藁について	7頁
6. 監督会議／事前質問書について	7頁
7. 式典について	7頁
8. 競技について	7～10頁
9. 競技運行について	10頁
10. 注意事項	10・11頁
11. 招集について	11・12頁
12. その他	12頁
13. 問合せ先について	12頁
14. 会場案内	12～15頁
15. 参加一覧／予選立順一覧	16～19頁
16. 緊急時の連絡体制について	20頁

【各種届出書】

事前質問書	21頁
立射申請書	22頁
選手変更届	23頁
選手交代届	24頁
監督変更届	25頁

1. 実施要項

第22回全国中学生弓道大会 JOCジュニアオリンピックカップ大会 実施要項

- 1. 目的 中学校教育の一環として、中学校生徒に広く弓道競技の実践の機会を与え、技能向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身とも健康な中学校生徒を育成するとともに、相互の親睦を図る。
- 2. 主催 公益財団法人全日本弓道連盟
- 3. 後援 スポーツ庁・公益財団法人日本オリンピック委員会〔JOC〕・公益財団法人日本中学校体育連盟
明治神宮・一般財団法人明治神宮崇敬会・公益財団法人日本武道館
- 4. 主管 東京都弓道連盟
- 5. 期 日 令和7年8月16日（土）・17日（日）
※公開練習は行わない。
- 6. 会 場 全日本弓道連盟中央道場／明治神宮武道場至誠館弓道場
〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町1-1
TEL：03-5302-5865
- 7. 競技種目 近的競技
- 8. 競技種類 団体競技・個人競技
- 9. 競技種別 男子の部・女子の部
- 10. 競技内容 的中制（坐射・直径36cm霰的）
- 11. 競技日程 8月16日 男子の部／8月17日 女子の部
各日共通
8：45～ 優勝杯・技能優秀杯 返還式
9：30～ 団体・個人 予選
予選終了後 昼食休憩
13：30～ 団体 決勝トーナメント
16：00～ 個人 決勝
17：00～ 表彰式
- 12. 競技方法 (1) 団体競技
1) チーム編成
①競技は、両種別とも3人立で行う。
②チームの登録は、両種別とも監督1名、選手4名以内とし、選手の立順（行射の順番）は参加申込時の登録順とする。
2) 予選
①両種別とも各自4射2回にて的中数の上位16チームを決勝トーナメント進出とする。
②決勝トーナメント進出の為の同中競技は、両種別とも各自1射にて、総的中数の多いチームを上位とする。
なお、1回の競技で順位が決らない場合は、順位が決定するまで繰り返す。
3) 決勝トーナメント
①両種別とも各自4射1回のトーナメント法で行う。
②同中の場合は、両種別とも、各自1射にて、総的中数の多いチームの勝ちとする。
なお、1回の競技で勝敗が決らない場合は、勝敗が決定するまで繰り返す。
(2) 個人競技
1) チーム編成
両種別とも監督1名、選手1名とする。
2) 予選
各自4射2回にて5中以上の的中者を決勝進出とする。
3) 決勝
射詰競技にて順位を決定し、継続的中数の多い方を上位とする。
9本目以降は、直径24cm星的を使用する。
的中を逸した同位者は、直径36cm霰的を使用し遠近競技を行う。
ただし、最上位者（優勝者）を決定する場合は、射詰競技を継続する。
(3) 制限時間については大会出場の手引きに記載する。
(4) 選手監督の変更及び交代については大会出場の手引きに記載する。

13. 表彰
- (1) 団体競技（両種別共通）
 - 1) 優勝チームに本連盟よりカップ（持ち回り）、賞状及びメダルを授与する。
 - 2) 2位～5位のチームに本連盟より賞状及びメダルを授与する。
（3位2チーム・5位4チーム）
 - 3) 技能優秀チームを選考し、本連盟よりカップ（持ち回り）及び賞状を授与する。
 - (2) 個人競技（両種別共通）
 - 1) 優勝者に本連盟より賞状及びメダルを授与する
 - 2) 2位～8位に本連盟より賞状及びメダルを授与する。
 - 3) 技能優秀者を選考し、本連盟より楯及び賞状を授与する。
14. 参加資格
- (1) 選手及び監督は所属する都道府県弓道連盟が選拔し代表として認証を受けた者であること。
 - (2) 選手は当該都道府県に在住または在学中とする。
 - (3) 両種別とも各都道府県から団体競技は1チーム、個人競技は1名とする。
 - (4) 北海道は両種別とも団体競技は1チーム、個人競技は1名増を認める。
 - (5) 東京都は開催地参加枠として、両種別とも団体競技は1チーム、個人競技は1名増を認める。
 - (6) 両種別とも前年度優勝チームは、団体競技の優先出場を認める。
 - (7) 両種別とも前年度技能優秀チームは、団体競技の優先出場を認める。
15. 適用規則
- 公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」、大会要項及び大会出場の手引きによる。
16. 参加料
- 団体15,000円 個人5,000円
17. 参加申込
- (1) 方法

所定の様式の参加申込書を本連盟までメールで送信すること。公印は省略する。

全日本弓道連盟 → 各都道府県弓道連盟 → 参加校（必要事項入力） → 各都道府県弓道連盟（参加資格確認） → 全日本弓道連盟（電子データによる申込受付完了）

 - ・参加申込書は本連盟ホームページからもダウンロードが出来る。
 - ・都道府県の代表となった学校（チーム）は参加申込書の様式に必要事項を入力し、所属する各都道府県弓道連盟事務局に電子データを送信するとともに参加料を納入すること。
 - ・各都道府県弓道連盟事務局は、取り纏めた電子データを次の（3）に示すメールアドレスに申込添書を添えて電子メールで送信すること。
 - (2) 注意点：参加チームは申込に際し、所属地連の締切日に十分注意すること。
原則として各チームから本連盟に直接申し込み（送金）をせず、地連が取り纏めて行うこと。
 - (3) 申込先 E-mail: taikaikanri@kyudo.jp
※メールの件名を「第22回全国中学生弓道大会参加申込【都道府県名】」すること。
18. 締切日
- 令和7年7月11日（金）厳守
- ※但し、各地連の日程都合により間に合わない場合、個別対応する。（事前連絡要）
19. 宿泊
- 各自で手配すること。
20. 注意事項
- (1) 本大会の団体競技優勝及び技能優秀のチームには、次回大会の参加権を与える。
 - (2) 大会参加にあたり、後日都道府県弓道連盟経由で配布の「大会出場の手引き」を確認すること。
 - (3) 弓具、服装について第3控で点検を行う。違反箇所が修正されなければ失権とする。
 - (4) 会場へは、公共の交通機関を利用すること。
 - (5) 参加者を対象に主催者で傷害保険に一括加入するが、参加者各位においてもスポーツ安全保険に加入することが望ましい。
 - (6) 参加者は健康保険証を持参のこと。
21. 映像の取り扱いについて
- 個人が撮影した画像・動画などのインターネット配信等については、撮影者において、被写体となる方の同意を得るなどして、肖像権侵害等の問題を生じないよう、十分に配慮すること。権利侵害の可能性や疑問が残る場合には、他者の権利を尊重して、撮影・配信等を中止すること。
22. その他
- 申込書の提出により、以後の関係資料について下記取り扱いの旨、承諾を得たものとする。
- ただし、下記（2）の月刊『弓道』・ホームページへの掲載に関しては、本人より不同意の申し出があった場合は、公開を停止する。
- (1) 大会プログラムならびに関係書類への記載（氏名、所属地連、称号、段位）
 - (2) 大会結果報告として、地連会長宛文書及び月刊『弓道』・ホームページへの掲載（氏名、所属地連、称号、段位、写真）
 - (3) 報道機関、写真業者等の写真撮影とその掲載等については、主催者は関知しない。
関係各法例を遵守する義務は、写真撮影者にあることを主張する。

2. 公益財団法人全日本弓道連盟弓道競技規則【令和7年5月14日改定】 (第15条、第20条、第21条抜粋)

第15条 〔行射と運行の方法〕 - 行射方法は、競技の要領で行う。(要領は別表15条①② P-12～15) - 行射の順序は、個人競技および団体競技とも、射場ごとに1番から順序に従って行う。 - 行射の1回の射数は、2射(一手)または4射(二手あるいは四つ矢)とし、大会要項に明記する。 - 射場内には、射位、本座および立の位置を明示する。 - 四つ矢のさばき方(坐射)は、弓道教本にある要領を原則とし、簡易法でもよい。(方法は別紙15条③ P-15) - 射場に入場後、弓具(弓、矢および弦等)が破損した場合は交換することができる。ただし替弓具が準備してある場合に限る。 - 射場に入場後、原則として矢返しはできない。 - 射位において持矢を棄権することができる。棄権する場合は、矢を自分の右前へ出す。	15 * 諸事情やむを得ず運行方法を変更する場合は、競技委員長が競技開始前に宣言しなければならない。競技途中で変更する場合は、公正公平を基に選手の了解を得て、競技委員長がその旨、宣言する。 * 一つの競技場を2または3あるいはそれ以上に分割して使用する場合は、第一射場、第二射場または第三射場などとして行う。たとえば、第二射場の1番の選手が第一射場の1番の選手より先に射離しても差し支えない。 * 行射は甲矢、乙矢と、2本の矢をもって一手としており、2射が1単位である。競技の進行上1回の射数は4射(二手)とすることもあるが、決して3射とか5射とかにはしない。 * 射詰競射・遠近競射では、1射単位で行射をするが、これは本条における1回の射数とはいわない。 * 弦切れ時の弦、筈割れした矢は、替弦・替矢と交換することができる。 * 弓は、弦切れ時および矢番え完了以前は、替弓と交換することができる。
第20条 〔弓具の規定〕 使用する弓具は、伝統的な形状のものでかつ危険を及ぼす恐れのないものとする。 (別紙20条 P-16伝統的な弓具図解概要参照) - 弓は、日本弓(和弓)とし、次の要件を満たすこと。 - 長さは、221cm(7尺3寸)を標準とし、若干の長短は認める。 - 握りは、本弭から約3分の1の辺りにある。 - 矢摺籐の長さは、籐頭より6cm以上とする。 - 照準のための装置や、矢摺籐に作為的な目印がない。 - 材質は、竹・木または新素材(グラスファイバー、カーボンなど)でもよい。 - 矢は、次の要件を満たすこと。 - 長さは、各自の矢束に従い安全な長さとする。 - 籐の太さは、直径6mm以上とする。 - 籐の材質は、竹または新素材(アルミ、グラスファイバー、カーボンなど)でもよい。 - 羽根は、鳥の羽根を3枚使用し甲矢、乙矢の区別がある。 - 羽文(羽根の長さ)は、近的競技は13cm～15cm、遠的競技は9cm～15cmとする。 - 羽山(羽根の高さ)は、5mm以上とする。 - 本矧、末矧および筈巻がある。 - 筈は、埋込式で筈溝がある。 - 筈は、筈溝以外の機能(蛍光、発光など)を有しない。 - 板付はかぶせ式とし、平題形、椎実形あるいは円錐形のいずれかである。 - 引込位置などを示す目印や類似のことがない。 - 弦は、次の要件を満たすこと。 - 撚って一本になっている。 - 材質は、麻または新素材などでもよい。 - 弾(ゆがけ)は、次の要件を満たすこと。 - 行射では、必ず右手に弾を着用する。 - 三つ弾、四つ弾あるいは諸弾のいずれかを使用する。 控、帽子および弦枕がある。 - 材質は皮革とする。 - 補助具など - 伝統的な押手補助具や傷部保護のための包帯、テーピングを除き、押手にはその他の物を付けてはならない。	20 * 弓具については使用目的や利用者の体格や技量などによって様々な種類があり、適切な選択が望ましく、競技の種類によっては大会要項で規定されることもある。新素材の弓具の使用は許容されるが、特に弓、籐、羽根、弦、弾の色彩については、武道の精神に鑑み、伝統的な色・柄が望ましく、けばけばしくないものとしたい。 * 競技には日本弓を使い、洋弓を使用しないことを規定したものである。日本弓の標準的長さは221cm(並寸)で、現在は6cm～18cm伸などがあり、また逆に3cm～12cm詰などがあるので、長短を認めることとした。日本弓の特徴は長弓であるとともに、握りの位置は、中心から下で全長の約3分の1の辺にある。したがって「約」として規定した。籐の節は目印と見做さない。ただし作為的に籐の節目が目印となるような巻き方をしてはならない。 * 日本弓に洋弓の特殊な形態をした羽根の矢、羽文の短いもの、羽山の低すぎるものなど、伝統的な形態を損なっているものや鳥以外の材質のものは使用しない。「鳥獣保護に関する法律」を順守し、不法捕獲による鳥の羽根は使用を禁止する。 * 中仕掛けに付ける伝統的な「探り(露)」は目印と見做さない。 * 矢筈に関し、「筈巻付き被せ式筈」の使用は認める。ただし伝統的な形状でありかつ危険を及ぼす恐れがないことに十分注意すること。 * 「諸弾・角入り三本弾」は、控があるものと見做す。中学生・高校生など初心者については「柔帽子、和帽子」の使用を認める。ただし習熟するに従いできるだけ早い機会に弦枕のある弾を使用することが望ましい。 * 伝統的な押手補助具としては、押手弾(拇指、人差指の2本指と拇指のみの1本指)がある。
第21条 〔服装の規定〕 - 競技の服装は、弓道衣〔筒袖、袴および白足袋〕または和服〔着物、袴および白足袋〕とする。ただし競技によっては、大会要項で服装を規定できる。 - 下記の大会については男子女子ともに弓道衣〔白筒袖、黒袴および白足袋〕とする。 - 全日本男子弓道選手権大会 - 全日本女子弓道選手権大会 - 全日本弓道遠的選手権大会 - 全日本勤労者弓道選手権大会 - 国民スポーツ大会弓道競技会(少年種別を除く) - 弓道衣にマーク(氏名、チーム名、クラブ名および学校名など)を付ける場合は、筒袖および袴それぞれ1か所のみとし、その大きさは縦横10cm以内とする。	21 * 服装の色合いについては、第21条2)と特に大会要項で定める場合を除き定めない。 * 筒袖の袖の長さは、肘程度が望ましい。 * 弓道衣下の下着は、無地とし、襟付き・ハイネックは好ましくない。 * 初心者は、運動服着用を認めるが、前ボタン・前チャックの物は避けること。 * 袴は、男子は腰板があるもの、女子は腰板のないものが一般的である。行燈袴は好ましくない。袴の裾は、足踏の姿勢で床面に着かないことが望ましい。 * 国民スポーツ大会少年種別の服装は公益財団法人全国高等学校体育連盟弓道競技規則に準ずる。 * 弓道衣に会社の宣伝効果をねらった必要以上の大きさのマークをつけることは好ましくない。しかし、チーム名をつけることは逆に進行状況がわかり、ゼッケン替りになることもあり、また、選手は愛社心も出てくるので推奨したい。

3. 大会スケジュール

(1) 大会日程 (両日共通)

	予定時刻	中央道場	至誠館弓道場
16日 (土) 男子	8:00	開館 (中央道場玄関・観覧席) 受付 (8:30まで)	入館は中央道場から
	8:45	優勝・技能優秀カップ 返還式	
	9:30	団体予選1回目 立順 前半	団体予選1回目 立順 後半
		小休止	小休止
		個人予選1回目 立順 前半	個人予選1回目 立順 後半
	11:00	団体予選2回目 立順 後半	団体予選2回目 立順 前半
		小休止	小休止
		個人予選2回目 立順 後半	個人予選2回目 立順 前半
	予選終了後	団体決勝トーナメント進出の為の 同中競射	
		昼食休憩	昼食休憩
17日 (日) 女子	13:30	団体決勝トーナメント1回戦	団体決勝トーナメント1回戦
	14:30	団体決勝トーナメント2回戦	
	15:30	団体決勝トーナメント準決勝	
	16:00	団体決勝トーナメント決勝	
	16:20	個人決勝	
	17:00	表彰式	

※上記時間帯は進行状況により開始時刻が前後するので注意してください。

※昼食休憩のほか、小休止を挟みます。

※第3控までに選手及び監督が確認できない場合は失権となります。

※期間中は至誠館弓道場玄関からの出入りはできません。中央道場玄関から出入りしてください。

※招集の開始時間は原則として各競技の開始ならびに再開の15分前とします。

(2) 参加一覧／予選立順一覧 16頁～19頁に掲載

16日	男子団体	前半	No. 1～22／後半	No.23～43
(土)	男子個人	前半	No. 1～22／後半	No.23～44
17日	女子団体	前半	No. 1～24／後半	No.25～47
(日)	女子個人	前半	No. 1～22／後半	No.23～44

4. 受付について

(1) 以下の時間帯で必ず受付を行うこと。大会プログラム及び選手章等を配付する。

開館～8:30 中央道場1階 (16日・男子／17日・女子)

(2) 前年度優勝チームは優勝カップを、前年度技能優秀チームは技能優秀カップを受付時に必ず持参すること。宅急便での送付を希望する場合は事前に12頁 13.問合せ先のメールアドレスまでその旨報告の上、下記住所へ8月13日(水)までに届くように送付すること。

<送付先住所>※着払い不可

〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町1-1

全日本弓道連盟中央道場 宛

TEL: 03-5302-5865

5. 公開練習／巻藁について

＜公開練習＞

公開練習としての会場の開放はありません。

＜巻藁会場＞

期間中、中央道場 2 階の巻藁室を開放する。

ただし、両日とも 9：00 までは立順番号の早い団体を優先とします。

6. 監督会議／事前質問書について

日程の都合により監督会議は行わない。

質問がある場合は、巻末（P21）事前質問書にて 8 月 8 日（金）までに提出のこと。

質問の回答は事前もしくは受付時に個別に回答し、全体に共有すべきと実行委員会が判断した内容については全体に配布する。

7. 式典について

（1）優勝・技能優秀カップ返還式

熱中症予防のために全体集合の開会式は実施せず返還式として実施する。

各日 8：45 より中央道場射場にて出席者は、前年度優勝チーム代表者 2 名、前年度技能優秀チーム代表者 2 名、選手宣誓者のみとする。5 分前には整列すること。

選手宣誓は団体立順番号 1 番の各学校（男子・香芝市立香芝中学校／女子・多賀城市立多賀城中学校）の選手代表者をお願いいたします。

（2）表彰式

競技終了後、中央道場射場にて行う。

入賞選手及び監督は競技終了後速やかに射場控に集合し競技役員の指示に従うこと。

選手は弓道衣（筒袖・袴・白足袋）を着用し参加すること。

（3）式次第

返還式	表彰式
1. 開式通告	1. 開式通告
2. 優勝・技能優秀カップ返還 レプリカ授与	2. 成績発表
3. 大会会長あいさつ	3. 表彰
4. 選手宣誓	4. 閉式通告
5. 閉式通告	

8. 競技について

（1）団体競技

①射場区分 予選は 3 射場、決勝トーナメントは 2 射場に分割して使用する。

②制限時間 予選・決勝ともに 1 立 7 分 30 秒以内とする。

ア) 制限時間の計時は、進行委員の「始め」の合図により開始する。

イ) 制限時間 30 秒前に予鈴（1 音）、制限時間超過時に本鈴（2 音）で合図する。

ウ) 本鈴と同時に射離した矢は無効とする。

エ) 制限時間超過後に射離した矢は無効、残った矢は失権とする。

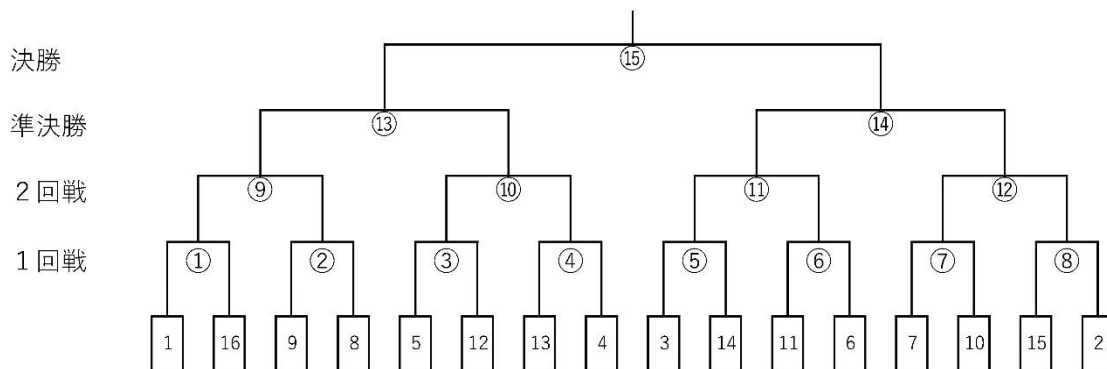
オ) 射場審判委員から行射停止指示が出た場合は、制限時間の規定を適用しない。

- カ) 自団体内に起因する事故(弦切れ処理等)の場合は、制限時間内で行う。
 キ) 同中競射については制限時間を設けないが、行射の前後動作が殊更に間延びしないこと。

③決勝トーナメントの組み合わせについて

抽選会を行わず、予選順位により決定することとします(次頁図参照)。

同的中の場合の順位は、予選立番号の小さい方を上位とします。



決勝トーナメント組み合わせ表

- ※1 四角内数字は予選での順位を示し、丸で囲った数字は、トーナメント立順を表します。
 ※2 例: ①組合せの場合、左側のチーム1が第一射場、右側のチーム16が第二射場となります。
 ②以降は同じ考え方で運行します。
 ※3 1回戦は①~④が中央道場、⑤~⑧は至誠館の2会場で実施します。2回戦以降(⑨~⑮)は全ての試合を中央道場で実施します。

(2) 個人競技

- ①射場区分 予選は3人立3射場(中央道場・至誠館の2会場)、決勝は3人立2射場(中央道場)に分割して使用する。ただし、43番以降は2人立とする。
 ②制限時間 特に設けないが、殊更に間伸びしないように各自が注意すること。

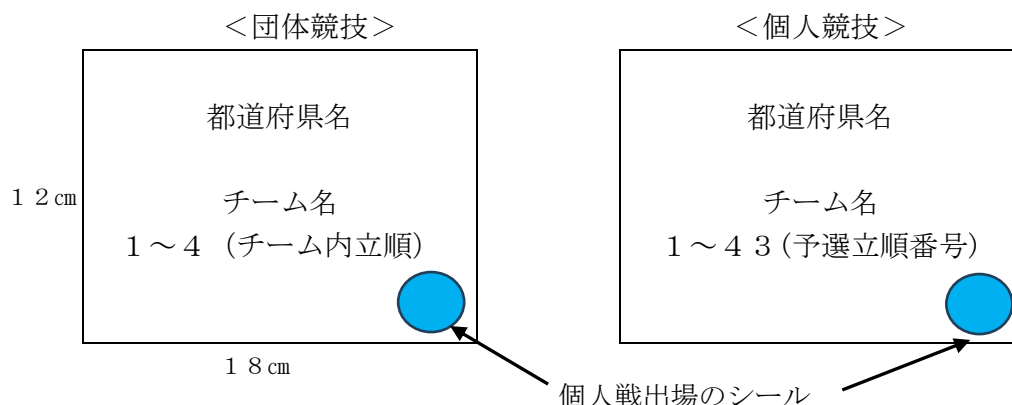
(3) 行射について

- ①公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」により行う。
 但し、取矢は行わなくともよいものとする。
 なお、技能優秀の選考に取矢の実施は影響しない。
 ②次の矢は無効となり、「はずれ」として処理する。矢番え完了(矢番えた後、右手を腰にとった時点)後に、筈が弦から外れた場合、打起し開始後に、射直した場合。
 ③筈の破損による矢の交換は、矢番え完了前までは認める。矢を交換する際には選手が挙手で進行委員に申し出ること。
 ④矢が幕に刺さったり横になったりした場合、団体競技では他の射場に、個人競技では他の的に影響を及ぼさない限り競技を中断し矢取りを行わない。
 ⑤選手は四つ矢のほか替矢2本を準備すること。団体競技の決勝トーナメントにおける同中競射の1本目は替矢を使用する。
 ⑥弦切れの場合は、進行委員が替弦を張る。
 ⑦前の選手より先に射離した場合は、射場審判委員が無効を宣言し、「はずれ」として処理する。
 ただし、射位において前の選手が持矢を棄権した場合は、この限りではない。

(4) ゼッケンについて

- ①選手はゼッケンを作製し、安全な位置に留意して着用すること。
 ②ゼッケンのサイズは、縦12 cm×横18 cmとする。(次頁図参照)

- ③ゼッケンは白地とし、文字の色は、原則として男子は黒色、女子は赤色を使用し『都道府県名・チーム名・立順（個人は予選立順番号）』を明記すること。
- ④個人戦参加選手は、青色のシールを配布するので、右下に貼ること。



（５）弓具点検について

- ①大会当日、第３控にて弓具点検を実施するので、事前に点検し、必要に応じ修理を行っておくこと。違反した場合は、失権と判定する。ただし修正されればこの限りではない。
- ②弓道競技規則第２０条〔弓具の規定〕、第２１条〔服装の規定〕については、前掲にて確認すること。
- ③弾止めは危険防止のため使用を控えること。
- ④髪の毛の長い選手については、危険防止のためゴムなどで束ねておくこと。
- ⑤着装（特に帯や紐等）は正しく行うこと。また、選手章はゼッケンの下に付けること。

（６）立射申請

事情により立射を希望する場合は、所定の用紙に必要事項を記入の上、大会受付時に提出すること。

（７）団体競技出場選手変更・交代及び監督の変更について

※選手＝参加申込み時に登録を行った選手４名の中で、変更・交代を行うことができる。

※監督＝参加申込み時に登録を行った監督以外の方を監督に変更することができる。

① 本手引きに掲載の所定の用紙に必要事項を記入の上、受付に提出すること。

②団体競技 ア) 選手の変更は、８：３０までとする。

イ) 選手の交代は、予選の交代は２回目招集までとする。

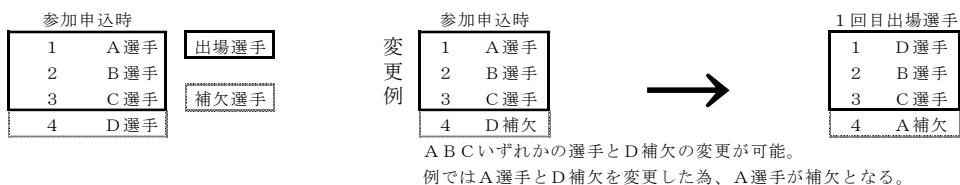
決勝の交代は、決勝トーナメント招集までとする。

※決勝トーナメント開始後（決勝トーナメント中）は選手の交代はできない。

ウ) 監督の変更は、８：３０までとする。

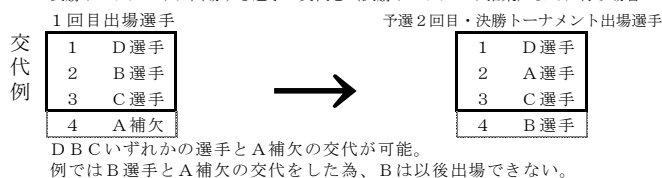
③個人競技 ア) 監督の変更は、８：３０までとする。

予選 1 回目開始前（8：30 まで）に選手変更を行う場合



予選 2 回目に出場する選手の交代を（予選 2 回目招集まで）行う場合

決勝トーナメントに出場する選手の交代を（決勝トーナメント招集）までに行う場合



9. 競技運行について

（1）団体競技

①予選

- 選手は進行委員の指示に従い射場に入場する。（原則として前の立、落の 3 本目の弦音）入場後は本座で跪坐をして待ち、進行委員の「始め」の合図で揖をして射位に進む。行射後は順次退場すること。
- 予選通過決定の同中競射においても上記と同様に行う。

②決勝トーナメント

- 選手は進行委員の指示に従い射場に入場する。
（原則として前立の勝敗の宣言が終わり退場するあたり）
入場後は本座で跪坐をして待ち進行委員の「始め」の合図で揖をして射位に進む。
行射後は本座に戻り跪坐、進行委員の勝敗宣言の後、「起立、退場」の合図に従い退場すること。

（2）個人競技

①予選

- 選手は進行委員の指示に従い射場に入場。（原則として前立の落の 3 本目の弦音）入場後は、本座で跪坐をして待ち、進行委員の「始め」の合図で揖をして射位に進む。行射後は順次退場すること。
- 予選の結果、決勝進出者が入賞枠の 8 名に満たない場合は、通過者のみで決勝を行う。通過者が満たない場合の入賞順位は空位とする
- 遠近競射の競技方法については、進行委員の指示に従うこと。

②決勝は、原則として、射詰競射を 1 射ずつ行うこととする。

（3）監督の入場要領について

①団体競技

- 監督は自チームの 3 番に続き入場し、選手の跪坐と同時に着座すること。

②個人競技

- 選手の列・監督の列に分かれ入場。監督は椅子の後ろ側を通り選手の跪坐と同時に着座すること。

10. 注意事項

- 射場内にはぎり粉、筆粉の持ち込みを禁止する。

- (2) 明治神宮内の全ての駐車場利用を禁止する。近くの有料パーキングを利用すること。
- (3) 昼食について、選手は原則控室、応援者は観覧席でとること。
- (4) 館内（中央道場及び至誠館）には関係者（選手・監督・引率・役員等）以外の者の立ち入りを禁止する。特に、選手監督控室のある中央道場2階への出入りの際は、セキュリティ確保の為、階段付近で受付時に配布する「選手章」及び「監督章」「引率ID」の確認を行う。また、前述のとおり、関係者以外の出入りを禁止する為、移動の際（私服時含む）も必ず「選手章」及び「監督章」「引率ID」を着用すること。
それ以外の者は入館できないので、応援者等の来訪者があった場合は、選手又は監督が「選手章」及び「監督章」「引率ID」が不要な場所まで移動をすること。
なお、今大会は競技種別（男子の部・女子の部）で大会日を分けているので、選手・監督・引率はそれぞれの出場日のみ（16日・男子／17日・女子）館内に入場することが出来ることとする。出場日以外は館内には入れませんのでご協力をお願いします。
- (5) 控室は指定席とする。観覧席での場所取りは禁止する。特に観覧席は譲り合って使用すること。明治神宮内の芝地等にテントやパラソル等スペースを必要とする設置物の使用は禁止する。これらは応援者へも周知徹底を図ること。
控室内では床面や壁面を傷つけないよう注意すること。特に床や壁を使用しての弓張りは厳禁とする。
- (6) 弓具及び貴重品等は各自で管理すること。会場内での物品の紛失については、一切責任をもたない。届けられた落し物については大会本部で保管する。また、ゴミは各団体でまとめ必ず持ち帰ること。
- (7) 会場は明治神宮苑内のため、苑内での発声を禁止し、射場及び観覧席からの応援は一切禁止する。但し、的中時の拍手のみ認める。
- (8) 会場内は裸足厳禁。必ず白足袋または靴下を着用すること。ストッキングは裸足とみなす。
- (9) 館内や苑内の自販機は数に限りがあるので水分の持参をすること。
- (10) 中央道場、至誠館共に観覧席を開放するが、熱中症予防兼混雑回避のため、観覧席の利用は、応援したいチーム・選手の出場前後30～40分程度の観覧として、その他の時間は木陰など風通しの良い場所で待機すること。また、席数に限りがあるので、譲り合って使用すること。
- (11) 感染症対策としてのマスクの着用は自己判断ですが、マスク着用時には熱中症に十分注意すること。
- (12) 会場内には看護師が待機しているので、体調が優れない場合は、近くの役員に申し出ること。

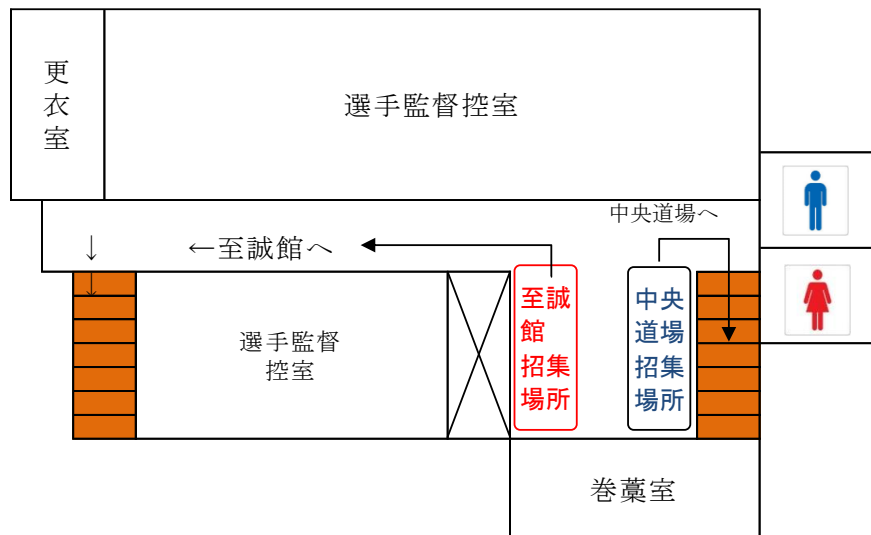
※以上の注意事項は応援者等にもご連絡をお願いします。特に厳しい暑さになる可能性もありますので熱中症には十分ご注意の上、各団体や各自（応援者含む）で万全の対策をお願いします。

11. 招集について

- (1) 団体予選・決勝1回戦／個人予選 招集場所

中央道場2階巻藁室前となります。至誠館会場も招集は中央道場で行い、揃い次第に係員が誘導します。各自の判断で至誠館や中央道場の1階へ移動しないようお願いいたします。

※団体戦、個人戦の参加にかかわらず、中央道場2階巻藁室前にお集まりください。



(2) 団体決勝2回戦以降／個人決勝 招集場所

中央道場1階に直接お越しください。

※なお、招集場所へは選手・監督にお集まりいただき、団体控選手とチーム引率者は控室もしくは観覧席で待機・応援してください。

12. その他

(1) 会期中、全日本弓道具協会による出張弓具修理所を設ける。

(2) 監督、応援者等の喫煙は所定の場所にて行うこと。

(3) 主催者が競技の撮影を行うとともに、実行委員会で許可した写真業者が撮影ならびに販売を行う。

13. 問合せ先について

お問合せの際は、可能な限りメールにてお願いいたします。

第22回全国中学生弓道大会実行委員会 kanri3@kyudo.jp

14. 会場案内

全日本弓道連盟中央道場

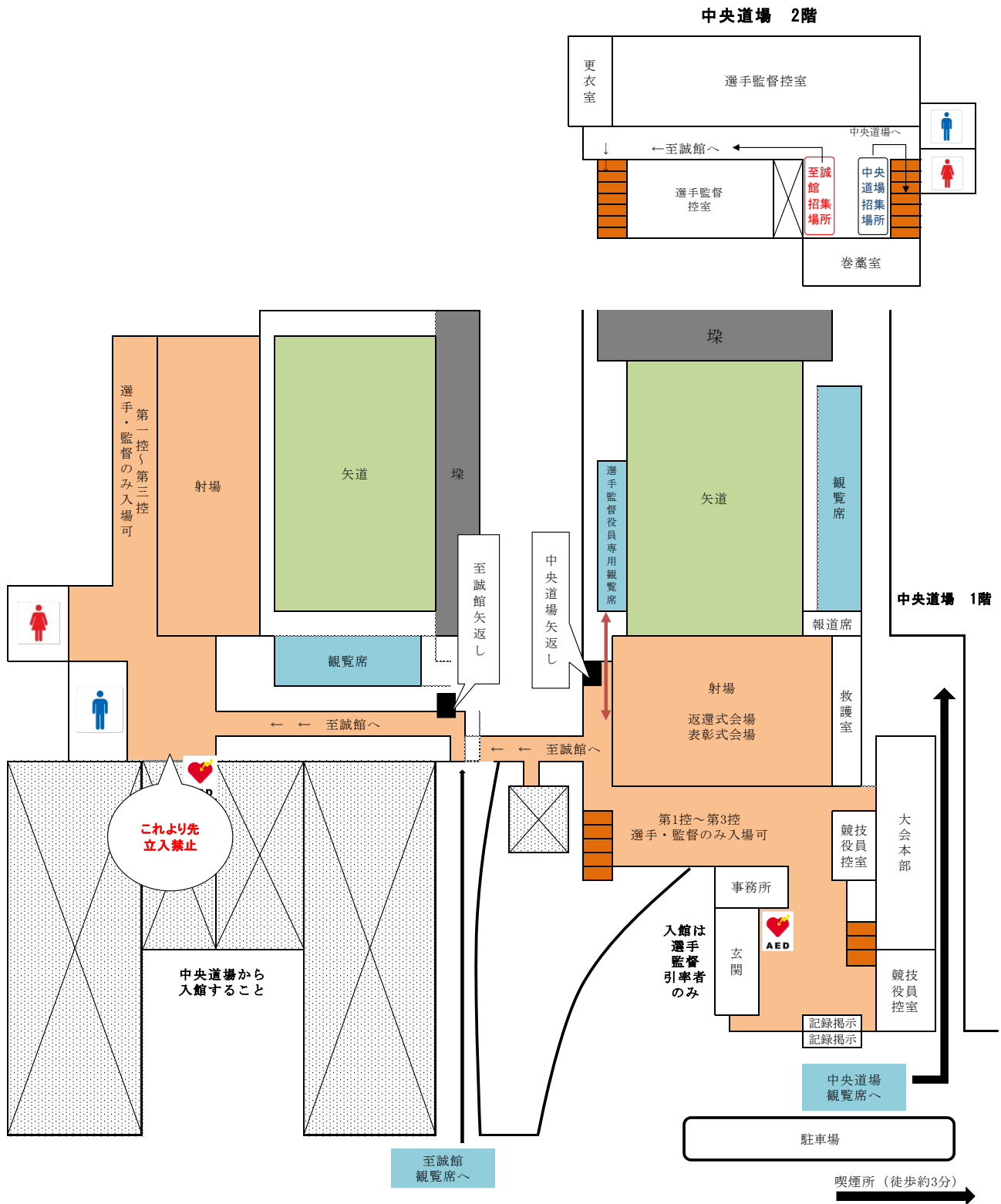
〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町1-1

TEL: 03-5302-5865

JR線・都営地下鉄「代々木駅」より徒歩約15分。小田急線「参宮橋駅」より徒歩約10分。



会場図



選手控室席図

該当する立順番号が控の机となります。

団体参加選手は講堂、個人参加選手は会議室が控室となります。

団体参加校で個人を兼ねている場合、右上が団体立順、左下が個人立順となります。

8月16日（土）男子の部

講堂(団体)

個人兼任			
1	4	4	3
		2	1
7	6	5	
	22	19	
11	10	9	8
31	37	5	
15	14	13	12
	10	39	28
19	18	17	16
		38	30
22	21	20	
25	24	23	
25	9	3	
29	28	27	26
	8		
33	32	31	30
11	41	21	23
37	36	35	34
		29	16
41	40	39	38
		43	42

会議室(個人)

44		
40	42	43
34	35	36
27	32	33
20	24	26
15	17	18
12	13	14
2	6	7

8月17日（日）女子の部

講堂(団体)

個人兼任

4	3	2 2	1
8	7 33	6 7	5 9
12 29	11 26	10	9 35
16 4	15	14	13 1
20	19	18	17 8
23	22	21	
27	26	25 6	24
31 5	30 30	29 31	28
35 32	34 17	33 34	32 36
39 15	38 39	37 11	36 14
43	42 28	41 38	40
47	46	45	44

出入口

出入口

出入口

会議室(個人)

出入口

43	44	
40	41	42
25	27	37
22	23	24
19	20	21
13	16	18
3	10	12

出入口

15. 参加一覧／予選立順一覧

都道府県	男子の部		女子の部	
	立順	団体名	立順	団体名
北海道	18	大空町立東藻琴中学校	12	帯広弓道協会帯広の森弓道少年団
北海道	39	恵庭市立恵明中学校	16	苫小牧中学校選抜
青 森	—	—	—	—
岩 手	14	いわて弓道ジュニア	7	いわて弓道ジュニア
宮 城	33	東北学院中学校	1	多賀城市立多賀城中学校
秋 田	—	—	23	角館大弓会
山 形	4	米沢市弓道スポーツ少年団	20	長井弓道会
福 島	32	福島県立会津学鳳中学校	39	福島県立会津学鳳中学校
茨 城	35	東海村立東海南中学校	18	東海村立東海南中学校
栃 木	36	宇都宮市立泉が丘中学校	24	益子町立益子中学校
群 馬	19	群馬少年弓道クラブ	8	群馬少年弓道クラブ
埼 玉	26	秩父市立秩父第一中学校	5	星野学園中学校
千 葉	5	成田高等学校附属中学校	21	成田高等学校附属中学校
東 京	25	慶應義塾中等部	17	慶應義塾中等部
東 京	23	早稲田中学校	34	東京都立桜修館中等教育学校
神奈川	37	慶應義塾湘南藤沢中等部	36	鎌倉女子大学中等部
山 梨	41	南アルプス市立櫛形中学校	10	南アルプス市立櫛形中学校
新 潟	—	—	32	燕弓道会
長 野	6	長野日本大学中学校	4	長野日本大学中学校
富 山	12	高岡市立伏木中学校	22	高岡市立伏木中学校
石 川	16	中能登町立中能登中学校	45	石川県立金沢錦丘中学校
福 井	34	福井県立高志中学校	30	福井県立高志中学校
静 岡	17	磐田東中学校	13	島田市立金谷中学校
愛 知	2	豊田市立末野原中学校	26	豊川市立南部中学校
			28	豊川市立西部中学校
岐 阜	11	岐阜県選抜	29	岐阜県選抜
三 重	9	四日市メリノール学院中学校	37	四日市メリノール学院中学校
滋 賀	27	滋賀県弓道連盟	14	滋賀県弓道連盟
京 都	7	学校法人ヴィアートル学園洛星中学校	25	京都府立洛北高等学校附属中学校
大 阪	29	上宮学園中学校	42	上宮学園中学校
兵 庫	3	甲南中学校	6	三田学園中学校
奈 良	1	香芝市立香芝中学校	35	橿原市立白橿中学校
和歌山	—	—	—	—
鳥 取	20	鳥取市立桜ヶ丘中学校	47	鳥取市立西中学校
島 根	28	島根県選抜	41	大田市立第一中学校
岡 山	15	岡山県浅口郡里庄町立里庄中学校	46	船穂弓道会
広 島	10	広島県立広島中学校	31	広島県立広島中学校
山 口	30	山口県立下関中等教育学校	43	宇部フロンティア大学附属中学校
			19	田布施町立田布施中学校
香 川	—	—	—	—
徳 島	38	徳島市徳島中学校	27	徳島市城西中学校
高 知	13	土佐中学校	44	高知県立安芸中学校
愛 媛	31	新田青雲中等教育学校	11	日陽館
福 岡	42	久留米市立三潨中学校	2	久留米市立三潨中学校
佐 賀	8	早稲田佐賀中学校	38	佐賀県立武雄青陵中学校
長 崎	22	海星中学校	9	長与スポーツクラブ
熊 本	24	九州学院中学校	3	九州学院中学校
大 分	—	—	33	別府市弓道会
宮 崎	21	串間市立串間中学校	40	宮崎市立宮崎西中学校
鹿児島	43	始良市立加治木中学校	15	松元中学校弓道部
	40	鹿児島市立鹿児島玉龍中学校		
沖 縄	—	—	—	—

都道府県	男子の部			女子の部		
	立順	選手名	団体名	立順	選手名	団体名
北海道	33	橋 本 琥 珀	美幌町立美幌中学校	29	蒲 生 紫 子	帯広弓道協会帯広の森弓道少年団
北海道	13	福 井 瑠 斗	札幌弓道連盟	4	谷 川 柚 羽	苫小牧市立和光中学校
青 森	—	—	—	—	—	—
岩 手	10	庄 子 大 都	いわて弓道ジュニア	33	作 山 心	いわて弓道ジュニア
宮 城	11	藤 澤 耀 久	東北学院中学校	27	金 来 歩 花	仙台市立広瀬中学校
秋 田	—	—	—	—	—	—
山 形	1	鈴 木 悠 太	米沢市弓道スポーツ少年団	16	小 南 芽 依	酒田地区弓道連盟
福 島	41	渡 部 航 右	福島県立会津学鳳中学校	15	木 村 は な	福島県立会津学鳳中学校
茨 城	29	島 田 一 輝	東海村立東海南中学校	13	渡 邊 陽咲葵	清真学園中学校
栃 木	40	橋 戸 健 人	宇都宮市立鬼怒中学校	18	上 岡 七 海	栃木市立藤岡中学校
群 馬	7	堀 海 星	群馬少年弓道クラブ	22	羽 賀 友 美	群馬少年弓道クラブ
埼 玉	42	吉 田 一 晴	所沢市弓道スポーツ少年団	9	雨 宮 麗	星野学園中学校
千 葉	19	寺 井 湊 祐	成田高等学校付属中学校	21	伊 藤 侑 里	松戸市立栗ヶ沢中学校
東 京	25	吉 塚 明 真	慶應義塾中等部	8	森 上 碧 乃	慶應義塾中等部
東 京	3	横 井 海 俐	早稲田中学校	17	篠 崎 心	東京都立桜修館中等教育学校
神奈川	24	三 國 稜 空	関東学院六浦中学校	14	小 倉 萌々音	鎌倉女子大学中等部
山 梨	32	佐 藤 哲	北杜市立甲陵中学校	43	羽 根 爽 夏	南アルプス市立櫛形中学校
新 潟	18	杉 森 俊 哉	燕中等教育学校	36	岡 部 み く	燕弓道会
長 野	22	清 水 一 樹	長野日本大学中学校	42	樋 口 莉 香	長野日本大学中学校
富 山	28	奥 原 澄	高岡市立伏木中学校	44	糸 岡 杏 菜	学校法人片山学園片山学園中学校
石 川	30	廣 澤 宗 和	中能登町立中能登中学校	40	長 井 結 稟	中能登町立中能登中学校
福 井	16	細 川 譲一朗	福井県立高志中学校	30	森 本 陽 子	福井県立高志中学校
静 岡	38	寺 田 莉 久	磐田東中学校	1	長谷川 愛 実	島田市立金谷中学校
愛 知	20	山 本 航 隼	幸田町立北部中学校	3	早 瀬 樹 花	蒲郡市立中部中学校
岐 阜	31	大 崎 絢 翔	富加町中学校組合立双葉中学校	31	三 和 栞 愛	垂井町立不破中学校
三 重	5	都 築 愛 弥	四日市メリノール学院中学校	11	近 藤 更	四日市メリノール学院中学校
滋 賀	15	宮 崎 魁 里	滋賀県弓道連盟	23	松 井 百 花	滋賀県弓道連盟
京 都	35	前 野 亘 輝	学校法人ヴィアートル学園洛星中学校	6	岡 村 水 葵	京都府立洛北高等学校附属中学校
大 阪	27	妹 野 市 路	上宮学園中学校	28	柴 田 蒼 子	上宮学園中学校
兵 庫	4	日 下 獅	甲南中学校	7	森 本 葉 南	三田学園中学校
奈 良	43	杉 本 康 徳	香芝市立香芝中学校	32	逸 崎 理 子	橿原市立白樺中学校
和歌山	—	—	—	—	—	—
鳥 取	26	中 野 泰	岩美町立岩美中学校	20	田 尻 実佐子	学校法人鶏鳴学園青翔開智中学校高等学校
島 根	8	原 田 翔 琉	開星中学校・高等学校	38	小 谷 夏 穂	大田市立第一中学校
岡 山	12	岡 崎 礼 河	岡山県浅口郡里庄町立里庄中学校	12	藤 井 那 津	岡山県浅口郡里庄町立里庄中学校
広 島	37	三 浦 貴 弘	広島県立広島中学校	5	森 紬	広島県立広島中学校
山 口	23	新 村 大 和	山口県立下関中等教育学校	19	濱 地 一 希	山陽小野田市立厚狭中学校
香 川	—	—	—	—	—	—
徳 島	14	高 橋 陸	徳島県立城ノ内中等教育学校	25	北 川 琴 理	徳島市城西中学校
高 知	39	小 野 優	土佐中学校	41	山 本 百合子	高知県立高知国際中学校
愛 媛	21	野 口 悠 仁	新田青雲中等教育学校	26	玉 井 佳 愛	日陽館
福 岡	36	宮 崎 叶 多	大川市立大川桐英中学校	2	成 末 陽 菜	久留米市立三潏中学校
佐 賀	6	麻 生 新	早稲田佐賀中学校	39	日 野 綺 咲	佐賀県立武雄青陵中学校
長 崎	17	橋 本 透 和	長崎南山中学校	35	鳥 越 芽 生	長与スポーツクラブ
熊 本	9	清 充 寿	九州学院中学校	24	稲 永 葵 衣	熊本市立鹿南中学校
大 分	44	東 宗 冨	臼杵市弓道会	34	安 部 咲 歩	別府市弓道会
宮 崎	34	池 田 光 希	都城市立西中学校	10	米 良 希 美	門川町立門川中学校
鹿児島	2	八 尋 優 樹	鹿児島市立武中学校	37	山 口 海 莉	霧島市立隼人中学校
沖 縄	—	—	—	—	—	—

男子の部			女子の部		
都道府県	立順	団体名	都道府県	立順	団体名
奈良	1	香芝市立香芝中学校	宮城	1	多賀城市立多賀城中学校
愛知	2	豊田市立末野原中学校	福岡	2	久留米市立三潴中学校
兵庫	3	甲南中学校	熊本	3	九州学院中学校
山形	4	米沢市弓道スポーツ少年団	長野	4	長野日本大学中学校
千葉	5	成田高等学校附属中学校	埼玉	5	星野学園中学校
長野	6	長野日本大学中学校	兵庫	6	三田学園中学校
京都	7	学校法人ヴィアトール学園洛星中学校	岩手	7	いわて弓道ジュニア
佐賀	8	早稲田佐賀中学校	群馬	8	群馬少年弓道クラブ
三重	9	四日市メリノール学院中学校	長崎	9	長与スポーツクラブ
広島	10	広島県立広島中学校	山梨	10	南アルプス市立櫛形中学校
岐阜	11	岐阜県選抜	愛媛	11	日陽館
富山	12	高岡市立伏木中学校	北海道	12	帯広弓道協会帯広の森弓道少年団
高知	13	土佐中学校	静岡	13	島田市立金谷中学校
岩手	14	いわて弓道ジュニア	滋賀	14	滋賀県弓道連盟
岡山	15	岡山県浅口郡里庄町立里庄中学校	鹿児島	15	松元中学校弓道部
石川	16	中能登町立中能登中学校	北海道	16	苫小牧中学校選抜
静岡	17	磐田東中学校	東京	17	慶應義塾中等部
北海道	18	大空町立東藻琴中学校	茨城	18	東海村立東海南中学校
群馬	19	群馬少年弓道クラブ	山口	19	田布施町立田布施中学校
鳥取	20	鳥取市立桜ヶ丘中学校	山形	20	長井弓道会
宮崎	21	串間市立串間中学校	千葉	21	成田高等学校附属中学校
長崎	22	海星中学校	富山	22	高岡市立伏木中学校
東京	23	早稲田中学校	秋田	23	角館大弓会
熊本	24	九州学院中学校	栃木	24	益子町立益子中学校
東京	25	慶應義塾中等部	京都	25	京都府立洛北高等学校附属中学校
埼玉	26	秩父市立秩父第一中学校	愛知	26	豊川市立南部中学校
滋賀	27	滋賀県弓道連盟	徳島	27	徳島市城西中学校
島根	28	島根県選抜	愛知	28	豊川市立西部中学校
大阪	29	上宮学園中学校	岐阜	29	岐阜県選抜
山口	30	山口県立下関中等教育学校	福井	30	福井県立高志中学校
愛媛	31	新田青雲中等教育学校	広島	31	広島県立広島中学校
福島	32	福島県立会津学鳳中学校	新潟	32	燕弓道会
宮城	33	東北学院中学校	大分	33	別府市弓道会
福井	34	福井県立高志中学校	東京	34	東京都立桜修館中等教育学校
茨城	35	東海村立東海南中学校	奈良	35	橿原市立白檀中学校
栃木	36	宇都宮市立泉が丘中学校	神奈川	36	鎌倉女子大学中等部
神奈川	37	慶應義塾湘南藤沢中等部	三重	37	四日市メリノール学院中学校
徳島	38	徳島市徳島中学校	佐賀	38	佐賀県立武雄青陵中学校
北海道	39	恵庭市立恵明中学校	福島	39	福島県立会津学鳳中学校
鹿児島	40	鹿児島市立鹿児島玉龍中学校	宮崎	40	宮崎市立宮崎西中学校
山梨	41	南アルプス市立櫛形中学校	島根	41	大田市立第一中学校
福岡	42	久留米市立三潴中学校	大阪	42	上宮学園中学校
鹿児島	43	姶良市立加治木中学校	山口	43	宇部フロンティア大学附属中学校
			高知	44	高知県立安芸中学校
			石川	45	石川県立金沢錦丘中学校
			岡山	46	船穂弓道会
			鳥取	47	鳥取市立西中学校

男子の部				女子の部			
都道府県	立順	選手名	団体名	都道府県	立順	選手名	団体名
山形	1	鈴木悠太	米沢市弓道スポーツ少年団	静岡	1	長谷川愛実	島田市立金谷中学校
鹿児島	2	八尋優樹	鹿児島市立武中学校	福岡	2	成末陽菜	久留米市立三潨中学校
東京	3	横井海俐	早稲田中学校	愛知	3	早瀬樹花	蒲郡市立中部中学校
兵庫	4	日下獅	甲南中学校	北海道	4	谷川柚羽	苫小牧市立和光中学校
三重	5	都築愛弥	四日市メリノール学院中学校	広島	5	森紬	広島県立広島中学校
佐賀	6	麻生新	早稲田佐賀中学校	京都	6	岡村水葵	京都府立洛北高等学校附属中学校
群馬	7	堀海星	群馬少年弓道クラブ	兵庫	7	森本葉南	三田学園中学校
島根	8	原田翔琉	開星中学校・高等学校	東京	8	森上碧乃	慶應義塾中等部
熊本	9	清充寿	九州学院中学校	埼玉	9	雨宮麗	星野学園中学校
岩手	10	庄子大都	いわて弓道ジュニア	宮崎	10	米良希美	門川町立門川中学校
宮城	11	藤澤耀久	東北学院中学校	三重	11	近藤更	四日市メリノール学院中学校
岡山	12	岡崎礼河	岡山県浅口郡里庄町立里庄中学校	岡山	12	藤井那津	岡山県浅口郡里庄町立里庄中学校
北海道	13	福井瑠斗	札幌弓道連盟	茨城	13	渡邊陽咲葵	清真学園中学校
徳島	14	高橋陸	徳島県立城ノ内中等教育学校	神奈川	14	小倉萌々音	鎌倉女子大学中等部
滋賀	15	宮崎魁里	滋賀県弓道連盟	福島	15	木村はな	福島県立会津学鳳中学校
福井	16	細川譲一朗	福井県立高志中学校	山形	16	小南芽依	酒田地区弓道連盟
長崎	17	橋本透和	長崎南山中学校	東京	17	篠崎心	東京都立桜修館中等教育学校
新潟	18	杉森俊哉	燕中等教育学校	栃木	18	上岡七海	栃木市立藤岡中学校
千葉	19	寺井湊祐	成田高等学校付属中学校	山口	19	濱地一希	山陽小野田市立厚狭中学校
愛知	20	山本航隼	幸田町立北部中学校	鳥取	20	田尻実佐子	学校法人鳴鶴学園青翔陽中学校高等学校
愛媛	21	野口悠仁	新田青雲中等教育学校	千葉	21	伊藤侑里	松戸市立栗ヶ沢中学校
長野	22	清水一樹	長野日本大学中学校	群馬	22	羽賀友美	群馬少年弓道クラブ
山口	23	新村大和	山口県立下関中等教育学校	滋賀	23	松井百花	滋賀県弓道連盟
神奈川	24	三國稜空	関東学院六浦中学校	熊本	24	稲永葵衣	熊本市立鹿南中学校
東京	25	吉塚明真	慶應義塾中等部	徳島	25	北川琴理	徳島市城西中学校
鳥取	26	中野泰	岩美町立岩美中学校	愛媛	26	玉井佳愛	日陽館
大阪	27	妹野市路	上宮学園中学校	宮城	27	金来歩花	仙台市立広瀬中学校
富山	28	奥原澄	高岡市立伏木中学校	大阪	28	柴田蒼子	上宮学園中学校
茨城	29	島田一輝	東海村立東海南中学校	北海道	29	蒲生紫子	帯広弓道協会帯広の森弓道少年団
石川	30	廣澤宗和	中能登町立中能登中学校	福井	30	森本陽子	福井県立高志中学校
岐阜	31	大崎絢翔	富加町中学校組合立双葉中学校	岐阜	31	三和栞愛	垂井町立不破中学校
山梨	32	佐藤哲	北杜市立甲陵中学校	奈良	32	逸崎理子	橿原市立白檀中学校
北海道	33	橋本琥珀	美幌町立美幌中学校	岩手	33	作山心	いわて弓道ジュニア
宮崎	34	池田光希	都城市立西中学校	大分	34	安部咲歩	別府市弓道会
京都	35	前野亘輝	学校法人ヴィアトル学園洛星中学校	長崎	35	鳥越芽生	長与スポーツクラブ
福岡	36	宮崎叶多	大川市立大川桐英中学校	新潟	36	岡部みく	燕弓道会
広島	37	三浦貴弘	広島県立広島中学校	鹿児島	37	山口海莉	霧島市立隼人中学校
静岡	38	寺田莉久	磐田東中学校	島根	38	小谷夏穂	大田市立第一中学校
高知	39	小野優	土佐中学校	佐賀	39	日野綺咲	佐賀県立武雄青陵中学校
栃木	40	橋戸健人	宇都宮市立鬼怒中学校	石川	40	長井結稟	中能登町立中能登中学校
福島	41	渡部航右	福島県立会津学鳳中学校	高知	41	山本百合子	高知県立高知国際中学校
埼玉	42	吉田一晴	所沢市弓道スポーツ少年団	長野	42	樋口莉香	長野日本大学中学校
奈良	43	杉本康德	香芝市立香芝中学校	山梨	43	羽根爽夏	南アルプス市立櫛形中学校
大分	44	東宗冴	臼杵市弓道会	富山	44	糸岡杏菜	学校法人片山学園片山学園中学校

16．緊急時の連絡体制について

台風等の緊急時の対応につきましては、全日本弓道連盟からラインオープンチャットにて情報を共有させていただきますので、下記QRコードの読み取りをお願いいたします。

なお、結果配信、お問い合わせに対するご返信はこのチャットでは行いません。



第22回全国中学生弓道大会実行委員会 宛 / **FAX: 03-6447-2981**

提出期限: 令和7年8月8日(金) 必着のこと

第22回全国中学生弓道大会
JOCジュニアオリンピックカップ大会

事前質問書

1. 質問がある場合は、質問事項を記入して期日までに全日本弓道連盟まで送付ください。
2. 質問の回答は事前もしくは受付時に個別に回答し、全体に共有すべきと実行委員会が判断した内容については全体に配布する。

都道府県名	
チーム名	
監督名	
連絡先	携帯電話番号(自宅電話番号) メールアドレス

3. 質問事項

--

※（ ）内は該当する箇所に○印

令和7年8月 日

立射申請書

競技委員長 殿

下記選手の立射を申請します。

（ 男子の部 ・ 女子の部 ）

（ 個人競技 ・ 団体競技 ）

都道府県 _____

チーム名 _____

監督名 _____

提出先：中央道場内受付 8：30まで

参加申込時立順 個人競技の場合は不要	選手名	申請理由
番	ふりがな	

担当	全日本 弓道連盟	総務委員長	競技委員長
確認者印 又は 署名			

※（ ）内は該当する箇所に○印

令和7年8月 日

選手変更届

競技委員長 殿

下記のとおり団体の選手変更をします。

（ 男子の部 ・ 女子の部 ）

予選立順 _____

都道府県 _____

チーム名 _____

監督名 _____

提出先：中央道場内受付 8：30まで

選手の立順	旧選手名（変更前）	新選手名（変更後）
番	選手名	選手名

受付日時 8月 日 時 分

受付者 _____

※（ ）内は該当する箇所に○印

令和7年8月 日

選手交代届

競技委員長 殿

下記のとおり（ 予選2回目 ・ 決勝トーナメント ）から選手を交代します。

（ 男子の部 ・ 女子の部 ）

予選立順 _____

都道府県 _____

チーム名 _____

監督名 _____

提出先：中央道場内受付

予選二回目招集まで

決勝トーナメント招集まで

選手の立順	旧選手名（変更前）	新選手名（変更後）
番	選手名	選手名

受付日時 8月 日 時 分

受付者 _____

※（ ）内は該当する箇所に○印

令和7年8月 日

監督変更届

競技委員長 殿

下記のとおり監督を変更します。

（ 男子の部 ・ 女子の部 ）

（ 個人競技 ・ 団体競技 ）

予選立順 _____

都道府県 _____

チーム名 _____

監督名 _____

提出先：中央道場内受付
8：30まで

旧監督名（変更前）	新監督名（変更後）
ふりがな	ふりがな

受付日時 8月 日 時 分

受付者 _____